

# 注 意 報

長崎県病虫害防除所長

令和2年度病虫害発生予察 注意報第5号

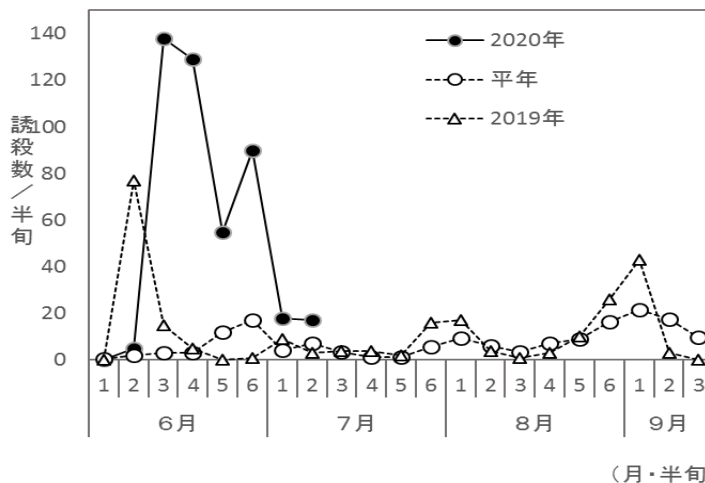
## 普通期水稻 コブノメイガ

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 6月8日にフェロモントラップ（諫早市）で誘殺を初確認後、7月13日まで断続的に誘殺されており、6月3半旬以降は平年より多く、7月1半旬以降は平年よりやや多い誘殺数となっている（図）。
- (2) 7月前期の巡回調査（80筆）の結果、食害株率は0.7%（平年 0.8%）、食害発生圃場率は27.5%（平年 5.5%）と多かった。
- (3) 7月3半旬の県予察圃場（無防除）調査の結果、食害株率は28.0%（平年 4.1%）と多かった。



(月・半旬)  
図 コブノメイガ フェロモントラップA (諫早市小船越)の誘殺量

4. 防除対策

- (1) 本虫の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、薬剤散布は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤では成虫発生最盛期に行う。
- (2) ロムダン（テブフェノジド）粉剤・液剤散布の場合は防除適期は8月3～4半旬、パダン（カルタップ）液剤散布の場合は、防除適期は8月3半旬と予想される。また、パダン（カルタップ）粒剤散布の場合は、8月2半旬と予想される。
- (3) 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○水稻穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、「ミツバチ」に被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。

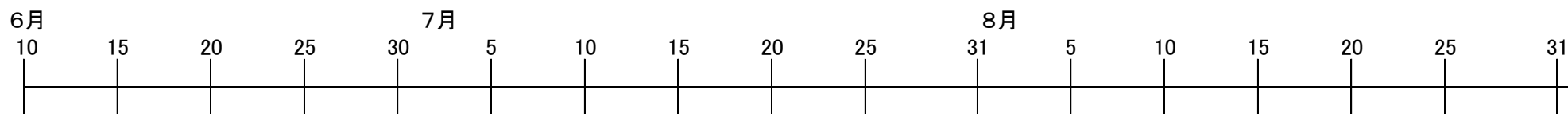
○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
「長崎県病虫害防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

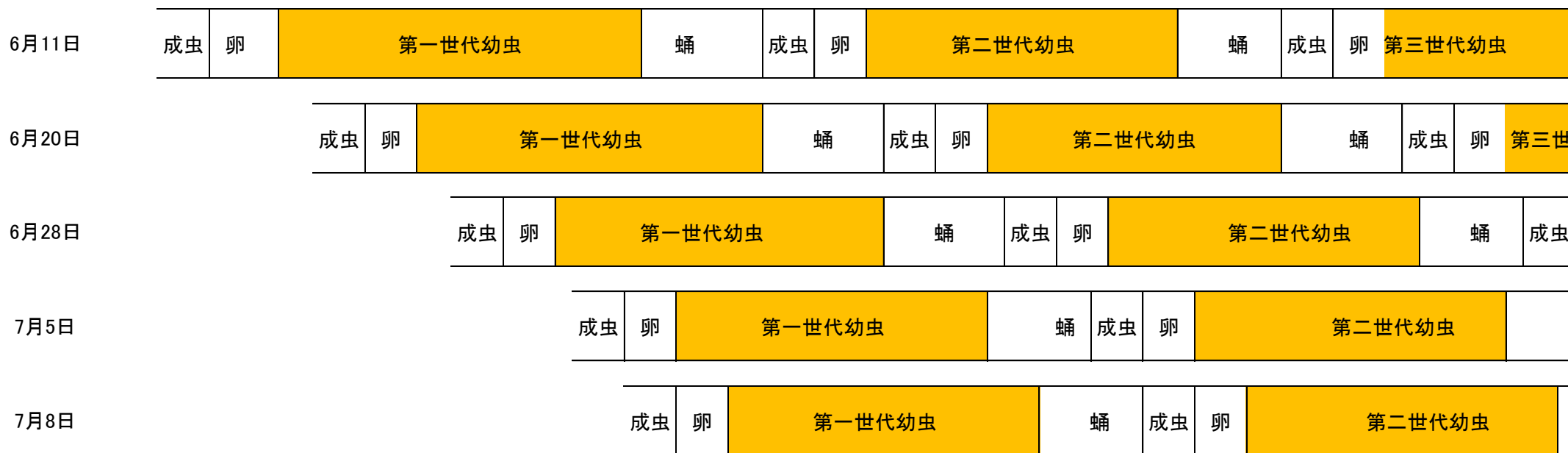
長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027



(図) コブノメイガの発生予測図(令和2年)



(飛来日)



※ 発生予測の気温は諫早市貝津町(農林技術開発センター)のデータを用いた(7月12日まで実測値、13日以降は平年値)

※ 予察灯とネットトラップ及び圃場調査より現時点での飛来日を推定した。